

派遣専門家オリエンテーション資料

ガンビア

Republic of the Gambia

任国情報

1995年

JICA LIBRARY



1124506 [5]

国際協力事業団

国際協力総合研修所

JICA
G511
20
11C
BRARY

はしがき

この任国情報は国際協力のために赴任される専門家およびJICA役職員等に、任国での生活上必要な事項についての情報を提供するものです。

本書の刊行にあたっては当該国に派遣中の専門家等JICA関係者の皆様より多大な御協力を得ました。また、外務省、在外公館、その他関係機関の御好意により、貴重な資料の一部を利用させていただきました。

今後も、本書の内容を一層充実させ、常に、新しい情報の提供に努めたいと考えております。

本書が国際協力の分野で活躍される方々の参考となれば幸いです。

平成7年3月
国際協力事業団
国際協力総合研修所長



1124506 [5]

目次

I 概 況	1
II 生活事情	7
1. 食生活	7
2. 衣 料	10
3. 住 宅	11
4. 医 療	13
5. 教 育	15
6. 家庭の使用人	17
7. 交通事情	18
8. 通 信	19
9. マスコミ	20
10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ	21
11. その他のサービス	24
12. 観 光	25
13. 治安、緊急時の心得	26
14. 出入国手続および帰国手続	27
15. 私財の輸送、引き取り、購入	28
16. 社 交	30
17. 任国官公庁	31
18. 在外日本関係機関など	32
19. 地方都市	33

I 概 況

表1：ガンビア概況

a) 正式国名	(和文) ガンビア共和国 (英文) Republic of the Gambia
b) 独立年月日 旧宗主国	1965年2月18日 イギリス
c) 政 体	軍制
d) 元首の名称	統治評議会議長：ヤヒヤ・ジャメ (Yahya' Jammeh)
e) 面 積	1万1,295平方キロメートル
f) 首 都	バンジュール (Banjul)
g) 総人口	103万人 (1993年)
h) 民族等	マンディンゴ族42%、フラ族18%、ウォロフ族16%、 ジョラ族10%、セラフリ族9%など
i) 公用語	英語
j) 宗 教	イスラム教85%、キリスト教10%、そのほか伝統宗教
k) 暦	<日本との時差> -9時間 <祝祭日> (1995) 1月1日 新年 2月18日 独立記念日 * 3月3日 断食明け祭日 * 4月17日 イースター 5月1日 メーデー * 5月10日 犠牲祭 * 8月9日 マホメット生誕日 8月15日 聖母昇天祭 12月25日 クリスマス (*は毎年日が変わる祝祭日)

出所 World Development Report 1995 The World Bank
 The Europa World Year Book 1995 Europa Publications Limited
 International Financial Statistics Yearbook 1995 IMF
 『世界年鑑』1995 共同通信社

(1) 国土の概要

アフリカ大陸の西端に位置し、国土は大西洋に注ぎこむガンビア川沿岸の低地よりなり、河口から内陸部まで300km、幅は内陸部で約25km、河口で48kmと細長く、セネガル領内に深く楔形に入り込んだ形をとっている。面積はアフリカで最も小さい国のひとつで岐阜県とほぼ同じ大きさである。

(参考文献)

『世界現勢』 1995 平凡社

『アフリカを知る事典』 1989 平凡社

(2) 気候

全体的にサバンナ気候に属し、6～10月が雨季、11～5月が乾季となっている。年降水量は、海岸と内陸とで異なるが、約750～1250mm程度であり、その大部分は雨季に降る。年間平均気温は15℃～33℃である。植生は全体にサバンナであるが、部分的には熱帯雨林もみられる。

(参考文献)

『アフリカ便覧』 1993 外務省

『アフリカを知る事典』 1989 平凡社

(3) 人口

ガンビアの人口は、1993年現在103万人で、ガンビア川の狭い両岸に居住しているため、53人/平方キロメートルと、アフリカとしては人口密度が高い。首都バンジュールの人口は4万4200人(83年)である。その他主要都市としてセレクンダ6万8400人、バカウ1万9300人。

(参考文献)

『世界年鑑』 1995 共同通信社

『アフリカを知る事典』 1989 平凡社

(4) 略史

表2：ガンビア略年表

年	出来事
5～8世紀	ガーナ帝国の一部となる。
13世紀	マリ帝国の支配下に入る。
15世紀中頃	ポルトガル船来航。
17世紀中頃	イギリス商人乗り込む。
1821年	イギリスの植民地となる。
1963年	自治政府。
1965年	独立。
1970年4月	共和国となる（ジャワラ大統領就任）。
1979年5月	人民進歩党（与党）大会でジャワラ書記長（大統領）が再選される。
1981年7月	クーデター未遂事件発生。
1982年2月	セネガンビア国家連合誕生。
1982年5月	国民投票によりジャワラ大統領再選。
1987年3月	総選挙においてジャワラ大統領再選。
1988年1月	クーデター計画発覚。
1989年9月	セネガンビア国家連合解体。
1990～91年	ジャワラ大統領ECOWAS（西アフリカ諸国経済共同体）議長。
1992年4月	大統領選挙（ジャワラ大統領再選）。 国民議会選挙。
1994年7月	無血クーデターによりジャメ中尉が統治評議会を発足させ、議長に就任。

出所 『アフリカ便覧』 1993 外務省

『世界現勢』 1990 平凡社

(5) 民族等

おもに5つの部族があるが、アメリカのアレックス・ヘイリー原作のテレビドラマ『ルーツ』でも知られるマンディング族は13世紀に東から入ってきたが、ガンビア川流域に小王国を形成し、現在でも人口の42%を占めている。隣国セネガルの主要部族でもあるウォロフ族は19世紀後半より入ってきたが、首都バンジュールの支配的住民として商業を営むかたわら、商品作物の落花生栽培も行う。フラ族は上流地域で牛を飼育する牧畜民である。ジョラ族はマンディング族に追われ、イスラム化に抵抗して河口から南に追いやられた。セラフリ族はマンディング族と同じくマンデ語グループに属するが、おもに東部に居住し商業に従事している。

(参考文献)

The Europa World Year Book - 1995 Europa Publications Limited

『アフリカを知る事典』 1989 平凡社

(6) 言語

公用語は英語であるが、他にマンデインゴ語、ウォロフ語などの各部族が特有のことは話す。

(参考文献)

The Europa World Year Book 1995 Europa Publications Limited
【アフリカ便覧】 1994 外務省

(7) 宗教

マンデインゴ族がイスラムを持ち込み、その結果、住民の85%がイスラム教徒である。残り15%の大部分はキリスト教徒であるが、ジョラ族など一部の部族は固有の宗教を信仰している。

(参考文献)

The Europa World Year Book 1995 Europa Publications Limited
【ラテン・アメリカ事典】 1989 ラテン・アメリカ協会
【ラテン・アメリカを知る事典】 1990 平凡社

(8) 文化

初等教育は8歳から6年間で無料ではあるが、義務教育ではない。1992年現在の就学率は56%。中等教育の就学率は19%である。また、成人の非識字率は1990年現在72.8%となっている。

(参考文献)

The Europa World Year Book 1995 Europa Publications Limited
【世界年鑑】 1995 共同通信社
【アフリカ年鑑】 1993-94 アフリカ協会

(9) マス・メディア

1) 新聞

新聞、政党機関紙等の発行は1994年7月のクーデター以降、公式には一時中止されている。主要紙にはThe Daily Observer、Foroyaaなどがある。

(参考文献)

The Europa World Year Book 1995 Europa Publications Limited
【アフリカ年鑑】 1993-94 アフリカ協会

2) 放送

1992年には15万5000台のラジオが普及している。ラジオ放送局としては、Radio Gambiaが英語、マンデインカ語、セラフリ語、ウォロフ語などで14時間放送を行っている他、Radio 1 FM、Radio Sydがある。

国営テレビ局はないが、セネガルからの放送を受信することは可能である。

(参考文献)

The Europa World Year Book 1995 Europa Publications limited

【アフリカ年鑑】 1993-94 アフリカ協会

表3：経済指標 [ガンビア]

1) 主要経済指標 の推移	年	(1992)	(1993)	(1994)
GDP (百万ダラシ) (注1)		2,947.6	N.A.	N.A.
一人当たりGNP (ドル) (注2)		370	350	N.A.
GDP実質成長率 (%) (注3)		-5.8	7.4	6.2
消費者物価上昇率 (%) (注1)		9.5	6.5	1.7
貿易 (百万ドル) (1992年) (注1)	貿易収支： 輸出額： 輸入額：	-31 63 234		
経常収支 (百万ドル) (注1)		37	N.A.	N.A.
対外債務残高 (百万ドル) (注4) (対GNP)		386.2	386.3	N.A.
債務返済比率 (%) (注2)		N.A.	53.2	N.A.
外貨準備高 (百万ドル) (注2)		N.A.	94	N.A.
2) 通貨 1995年12月15日 現在 (注5)	通貨単位：ダラシ 1ドル = 9.8525 ダラシ			
3) 会計年度	7月1日～6月30日			

出所 (注1) International Financial Statistics Yearbook 1995 IMF
(注2) World Development Report 1994-1995 The World Bank
(注3) EIU Country Report 3rd quarter 1995
(注4) World Debt Table 1994-1995 The World Bank
(注5) 東京銀行調べ

II 生活事情

1. 食生活

1-1 食料

(1) 一般事情

ヨーロッパ料理に使われる原材料は、ツーリストシーズン（11月～5月）にはイギリス、スペインなどから入荷しているが、シーズン前（9月、10月）は野菜類が特に欠乏する。また、輸入食料品は地元産に比べ価格が2倍近い。

(2) 主な食料の出回り状況

米はほとんどがアメリカ、日本などからの援助米で、モーリタニア人の店で買うことができる。またスーパーではアメリカ米（アングルベン）、タイ米が売られているが、あまりおいしくない。

年中入手可能な野菜は、タマネギ、じゃがいも、トマトのみで、時期によってキャベツ、サラダ菜、にんじん、オクラ、ネギ、いんげん、ショウガ、ナス、きゅうり、かぼちゃなどが出回る。

果物は、リンゴ、ミカン、ブドウ、スイカ、メロンなどがあるが、ほとんどが輸入品である。地元産としては、オレンジ、バナナ、マンゴー、パイナップルがある。

魚介類はサワラ、イカ、エビ、ロブスター、ボラ、大西洋ニシン、海ナマズ、バラクーダがある。

パン類は町のいたるところで買うことができる。

肉類は肉屋もしくはスーパーで買うことができる。

乳製品はすべて輸入品である。

食用油はグランドナッツオイルがよい。ほかは輸入品で割高である。

酒類の関税は安く、ワイン、ウイスキーなどが安く買える。ガンビアの水は軟水で、ほとんど問題ない。ミネラルウォーターは輸入品がスーパーで入手可能である。

(3) 食料の入手

日本食料品の入手は不可能である。しかし、ラスパルマスかロンドンまで行って購入する方法がある。中国のしょうゆやラーメンなどはスーパーで入手可能である。

スーパーは、アトソズ、アロンス、セントメーリースフード、CFAO（フランス系）、チャララム（インド系）、ソナール（インド系）、フットワース（インド系）、モノロプロム（フランス系）、ポールマルーン（レバノン系）がある。ほかにローカルマーケットがあり、ほとんどのものが入手可能である。

1-2 食器・調理器具など

(1) 食器・調理器具などの入手

食器や調理器具は日本料理用品など特殊なものを除き、当地で揃えることができる。

当地で入手可能なものは、冷蔵庫、冷凍庫、ミキサー、トースター、ホットプレート、包丁、まな板、鍋、圧力鍋、フライパン、皿、コップ、フォーク、ナイフ、スプーン、ひき肉機、電子レンジ、電気湯わかし器である。つまようじなども入手可能である。

なお、調理器具は、電気式またはプロパンガス式である。

(2) 日本から持参した方がよい食器・調理器具など

茶わん、おわん、はし、急須、湯飲み、出刃包丁、蒸し器、炊飯ジャーがある。
包丁は当地でも入手できるが、質があまりよくないので、日本から持参するほうが望ましい。電圧は240ボルト、50ヘルツである。

1-3 外 食

(1) 飲食店

<中華料理>

竹園 (Bamboo Restaurant)

所在地：Fajara

電 話：95764

ゴールドドラゴン

所在地：Pipe Line

<ヴェトナム料理>

サイゴン

所在地：Fajara

<インドネシア料理>

イエローゲート

所在地：Kanifing

電 話：92728

<レバノン料理>

ラマーレストラン

所在地：Pipe Line

電 話：92638

<ドイツ料理>

グラストーブル

所在地：Banjul

電 話：28371

アンバサダー

所在地：Pipe Line

電 話：91269

フランシスコ

所在地：Fajara

電 話：95332

<フランス料理>

ノホテル内

所在地：Kotu

電 話：95465

ユーボクラス

所在地：Cape Point

電 話：96222

<タイ料理>

Siam Garden

所在地：Fajara

電 話：496141

(2) その他の飲食店

該当情報なし。

2. 衣 料

2-1 衣 料

(1) 一般事情

バンジュールの気候は1年を通じて日中は28℃前後だが、12～2月は朝夕冷え込み、17℃前後となる。セーターの1～2枚は必要である。中国製の長袖トレーナーやセーターなどが販売されている。

(2) 日本から持参した方がよい衣料

下着は多数準備してきた方がよい。子供の衣料、パジャマ、ゆかた、スーツ、礼服なども持参した方がよい。

(3) 任国で調達した方がよい衣料

運動靴、サンダル、毛布、シーツのほか、カーテンなどは、いずれも中国製が安く売られている。布地は安く豊富である。

(4) その他の留意点

特にない。

2-2 礼 装

(1) パーティ

男性はスーツやサファリスーツなど、女性はドレス、着物などである。

(2) 式 典

男性はスーツ、女性はスーツまたは着物である。

(3) その他の冠婚葬祭

黒のスーツなどがよい。

(4) その他の留意点

男性のスーツ、女性のスーツや着物は、日本から持参したもののの方が喜ばれる。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗 濯

クリーニング店はホテル内のみである。アイロンは、スーパーで購入可能である。ドライクリーニングはできない。

(2) 仕立て、修繕

仕立屋、修繕屋は多く、安い。

(3) 保 管

雨季は高温多湿、乾季はハマターン（砂嵐）のため、保管には注意が必要である。

3. 住 宅

3-1 住宅事情

(1) 一般事情

バンジュール市内には、外国人向きの家はない。

バンジュールから約15キロメートルのところに、外国人向き家屋の多い地区（バカウ町、コツ地域）がある。すべて独立家屋で、家賃は年2万5,000～8万ダラシである。家賃はほとんどが年払いである。

アパートなどはない。

(2) ホテル事情

カイラバビーチホテル

備考：当国で最上級のホテルである。

アトランティックホテル

電話：28601～6

テレックス：GV2250

備考：ガンビアに出張の日本人がよく使用する。

ノホテル

電話：95465、95466

テレックス：2216NOVOTEL GV

備考：フランス系の国際チェーンホテルである。

バンガロービーチホテル

電話：92093、92288

備考：調理器具、冷蔵庫、ミニスーパーなどの長期滞在用施設がある。

セネガンビアホテル

電話：92718、92719

テレックス：2269SGBH GV

備考：よいホテルであるが、町からいちばん遠い。

ホテルファジャラ

備考：シーズンオフは安い。

どのホテルもJICA割引はない。

(3) 住宅の探し方

業者はいるが、知人および配属先の上司に聞いて、自分で多くみて回るほうがよい。新聞に広告は出ていない。スーパーなどの入口に看板や紹介欄があるので、そこで探す方法もある。

(4) 住宅の選定上の留意点

防犯、利便性も大切であるが、近くにバー、ディスコなどがあるかどうかといった点を考慮して騒音の少ない、よい環境の家を探すべきである。またよく断水、停電があるので貯水タンクの有無も確認する必要がある。

大統領官邸および副大統領邸近くは、断水、停電にはなりにくいが、クーデターなど緊急時には危険になる可能性が高いので注意すること。

(5) 住宅の契約

契約期間は1年が原則となっている。家主によっては外貨払いを請求される場合もある。家具付きの貸家は殆どない。家具は国産のよい木材がないため、かなり高額である。

(6) 電気、ガス、水道などの手続と管理

維持管理、防犯対策のため、庭師（ガーデンボーイ）およびガードマン（ウォッチマン）を雇う必要がある。

電気・水道などの公共料金は1ヵ月400～1,000ダラシ、プロパンガスは、11キログラムボンベで175ダラシ（中身のみ）である。前居住者からの引き継ぎになるので、申し込みの必要はなく、入る前にメーターを確認して、前居住者の分は家主に必ず払ってもらうこと。

地中に埋めるなどしてゴミなどの処理は自分で行なうこと。

(7) その他

該当情報なし。

4. 医 療

4-1 赴任前の準備

(1) 予防接種

入国に必要な予防接種は、黄熱病のみである。

(2) その他の準備

歯の治療は全部すませてくることが望ましい。眼鏡、コンタクトレンズなどは必ず予備を忘れないこと。狂犬病、破傷風、脳膜炎、ポリオなどの予防注射は日本で受けてきた方がよい。また、1987年には、ポリオおよび脳膜炎が流行した。

4-2 医療事情

(1) 医療機関

日本人が利用できる機関は、次のとおりである。

ロイヤルビクトリア病院――中国医療チームがいる。

Medical Research Center――白人医師および看護婦がいる。

このほかにも個人病院があるが、医療費が高額になる。医師に往診してもらうことも可能であるが、1回につき350ダラシである。

(2) 緊急時の対応と措置

救急車の手配は不可能である。JICA事務所もなく、兼轄の在セネガル日本大使館としては、セネガルのダカールへ早急に向かうようにとの指示である。

4-3 医薬品など

(1) 携行することが望ましい医薬品

正露丸、体温計、バファリン、座薬（子供用）、キンカン、目薬、かぜ薬、抗生物質、軟膏、胃腸薬、湿布薬などは自分に合ったものを携行するほうがよい。

(2) 任国で調達できる医薬品

処方せんなしで購入が可能である。マラリア予防薬がある。ほとんどの薬は入手可能であるが、使い慣れたものを持参することをすすめる。

(3) 任国で調達できる衛生用品

生理用品、包帯、ガーゼなどは、ほとんどがイギリス製で品質はよい。

(4) 医薬品を使用する場合の留意点

該当情報なし。

4-4 妊娠、出産、育児

(1) 妊娠した場合の対応

分娩、流産への対応は可能であるが、早産児出産への対応は不可能である。

ロイヤルビクトリア病院 Labour Word TEL 27582

(2) 出産後の対応

新生児の予防接種は可能である。

(3) 育 児

育児用品はほとんどがイギリス製であり、入手は容易である。

4-5 手 術

(1) 任国で可能な手術

該当情報なし。

(2) 手術設備の状況

該当情報なし。

(3) その他の留意点

該当情報なし。

4-6 任国でよくかかる傷病

(1) 一般の疾病

皮膚病、消化器系、かぜがある。

(2) 風土病・伝染病

マラリアがある。

(3) 有害動物、病害虫

蚊、ブヨ、プチフライ（皮膚にやけど状のあとが残る虫）、毒ヘビ、ハチ、アリ（毒性が強い）がいる。時期により毒虫がいる。ときにノミの異常発生がある。

4-7 保健衛生

(1) 飲料水

一般に利用する水は軟水で、そのまま飲んでも大丈夫だが、沸騰させた方が安全である。

(2) 濾過器の入手法

当地で入手可能である。

(3) その他の留意点

特にない。

5. 教 育

5-1 教育事情

(1) 一般事情

小・中学校9年、高校5年、高校専攻科2年である。

(2) 日本人学校

ない。

(3) 現地校、外国人学校

フレンチスクール、アメリカンスクール、インターナショナルスクールがある。

インターナショナルスクール

住所：Campama Estate

電話：96109

備考：幼稚園、小学校がある。

アメリカンスクール

住所：Sutay Bajang St.

電話：95920

備考：幼稚園、小学校がある。

フレンチスクール

住所：Fajara

電話：95487

備考：幼稚園、小学校がある。

ガンビアハイスクール

住所：Independence Drive

電話：27394

(4) 幼稚園

アメリカンスクール、フレンチスクール、インターナショナルスクールにある。

5-2 入学手続および授業料

(1) 日本人学校

なし。

(2) 現地校、外国人学校

アメリカンスクールでは、英語が話せるかどうかの簡単な試験などがある。現地校は随時入学可能である。

インターナショナルスクール

入学金：100～300 ドラシ

学費（3ヵ月）：1,980～2,200 ドラシ

フレンチスクール

入学金：100～300 ドラシ

学費（3ヵ月）：1,980～2,200 ドラシ

アメリカンスクール

学費（3ヵ月）：7,000 ドラシ

ガンビアハイスクール

学費（3ヵ月）：200ダラシ

現地校

学費（3ヵ月）：80～90ダラシ

(3) 幼稚園

インターナショナルスクール、フレンチスクールの費用は、次のとおりである。

入学金：100～300ダラシ

学費（3ヵ月）：1,800～1,975ダラシ

5-3 教育関係施設

(1) 図書館

New Town通りに面したアメリカ大使館内にアメリカンカルチャーセンターがある。

(2) スポーツ施設

テニス、水泳、スカッシュ、ゴルフ、バドミントン、卓球などの施設がある。

5-4 家庭学習

(1) 家庭教師

語学（フランス語、ウォロフ語、英語）の家庭教師がいる。

(2) 通信教育

海外子女教育振興財団などの通信教育を利用するとよい。

(3) 携行した方がよい家庭用学習教材

当地ではほとんど入手不可能のため、独自の判断によって携行することを勧める。

6. 家庭の使用人

6-1 運転手

(1) 雇用

知人の紹介などがよい。

(2) 日常管理

出退勤管理、走行管理、保守点検管理がある。

(3) 教育指導

運転マナー、服装、安全運転を教育指導する。

(4) その他の留意点

ガソリンなどを抜き取ることがあるので、車を使わない時には鍵を渡さないこと。
また、待機時間などに、無断で白タク行為などをしないよう気をつけること。

6-2 メイド/サーバント

(1) 仕事の種類と人数

メイドは料理、皿洗い、洗濯、掃除、子守などをする。

(2) 雇用

知人の紹介がよい。

(3) 日常管理

勤務状態を把握し、注意すること。

6-3 庭師、ガードマンなどの雇用

(1) 雇用

メイドなどと同様、知人の紹介がよい。庭師は庭の掃除、野菜栽培、洗車などをする。

また、アメリカ系のガードマン派遣会社がある。ガードマンは3交代制で月2,000ダラン前後である。

7. 交通事情

7-1 交通手段

(1) 一般事情

外国人にとってはタクシーが一般的である。ガンビア人は、安くて便利な相乗りのタクシー、バスを利用している。鉄道、国内航空はない。

(2) 自家用車を利用する場合

交通方式はセネガル（フランス式）と同様であるが、ラウンドアバウト（ロータリー）では、なかの車が優先となるので注意すること。

(3) レンタカーなどを利用する場合

レンタカー会社は観光シーズンのみ営業している。各ホテルで申し込みができる。また、タクシーを1日契約で、利用することもできる。

(4) 道路地図

各ホテルで販売されている。

7-2 交通事故

(1) 対処方法

事故の場合の連絡先は警察である。警官が来るまで事故の相手とはあまり話さないこと。保険会社への連絡は、24時間以内にすること。

(2) 救急病院

バンジュール地区は、ロイヤルビクトリア病院（電話：16）である。地方には救急病院はない。

(3) 盗 難

まず警察に連絡し、その後、保険会社へ連絡すること。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

右側通行（左ハンドル）の国際法規である。

(2) 対処方法

注意されるのみで、罰金などはない。しかし、国外ナンバーの車に対しては現金を請求されることがある。

7-4 車の修理

(1) 部 品

入手可能な車種は、トヨタ、ニッサン、三菱、マツダ、プジョー、ルノー、ラダである。

(2) 修理工場

上記ディーラーに依頼することをすすめる。

8. 通 信

8-1 電 話

(1) 一般事情

外国人向き住宅の場合は、普及率が8割以上である。

(2) 国内電話

バンジュール、バカウ、セレクンダ、ブリカマ地域のみダイヤル直通である。
料金は、50プトトである。

(3) 国際電話

日本へはダイヤル直通で通じる。1分間約28ドラシである。ホテルなどでは手数料がかかるため、倍の値段となる。

8-2 電 信

(1) テレックス

行政機関の事務所などに設置されているが、停電がよくあるので受信状態はよくない。中央電電公社（GAMTEL）は自家発電があるので、送受信の問題はない。

(2) ファクシミリ

中央電電公社および各地区の支局にある。また、各省庁のオフィスにはたいてい設置されている。

(3) 電 報

中央電電公社で打つことができる。

8-3 郵 便

(1) 一般事情

中央郵便局から小包などの通知があるので、とりに行くこと。その場合、5ドラシと身分証明書が必要である。税関員による開封検査がある。

(2) 課 税

個人使用の場合、アルコール類を除き無税である。食料品は数量に関係なく無税である。

9. マスコミ

9-1 新聞

(1) 主な日刊紙

「Observer」、「Point」がある。また、隔週発行紙「Gambia Times」、「The Gambia」がある。

(2) 本邦日刊紙

OCSなどに問い合わせること。

(3) 欧米紙

「Newsweek」（毎週水曜日）があるが、宅配は不可能である。

9-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

放送局には次のものがある。

ラジオワン	102kHz/FM
ラジオガンビー	650/kHz/MW
ラジオシイド	909/kHz/MW

(2) ラジオジャパン

モヤビ中継で1日3回受信でき、状態はよい。受信機は、例えば、SONY ICF7600Dがある。

(3) 任国で聴取可能なその他の外国放送

BBC、VOA、ラジオモスクワなどが受信できる。

9-3 テレビ

(1) テレビ放送局

ない。ただし、セネガルの放送を受信することができる。

(2) テレビ受信

SECAM方式である。

10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ

10-1 映画、演劇

- (1) 映画館
市内に5館あり、古い映画を上映している。
- (2) 劇場
ない。

10-2 出版・書籍

- (1) 一般事情
雑誌、週刊誌、小説などは、CFAOで購入できる。すべて英文である。
- (2) 書店
ミッション系の書店があり、洋書がある。日本書籍の入手は不可能である。

10-3 語学学習

- (1) 語学学習施設
フランス語、ウォロフ語を学習するところがある。
- (2) 家庭教師
英語、フランス語、ウォロフ語の教師がおり、個人的に契約する。

10-4 文化活動、文化施設

- (1) 一般事情
国立博物館は、土・日曜日、祭日を除く毎日開館している。
- (2) 日本・任国友好協会などの有無と活動の内容
ない。
- (3) その他の文化活動、文化施設
コミュニティーセンターにおいて、ろうけつ染の指導が催されることもある。

10-5 写真、ビデオ

- (1) 写真
コダック、フジフィルムがあり、36枚撮りが48ダラシである。1時間仕上げのDPEの店が数軒ある。カメラ自体は売られているが、アクセサリは入手不可能である。
- (2) ビデオセット
ビデオは調達可能で、VHSが一般的である。ビデオクラブが多数ある。
ビデオテープの通関に問題はない。
- (3) ミュージックテープ
多数市販されているが、アフリカ音楽が主体である。20～30ダラシである。

10-6 音楽鑑賞、演奏、民族楽器

- (1) 音楽会、コンサート
年に1～2度ある。
- (2) コーラス、演奏グループ
同好会がある。
- (3) ピアノなど
ない。

- (4) レコード
販売店はあるが、種類は少ない。
 - (5) 民族楽器
ギターのような楽器、コーラがある。
 - (6) その他の楽器
木琴（パロー）、ドラム（タンタゴ）がある。
- 10-7 手芸、絵画、美術工芸
- (1) 手 芸
手芸品の調達は可能である。
 - (2) 絵画、美術工芸
販売店はある。ろうけつ染布絵が主体である。
- 10-8 趣 味
- (1) 園 芸
種はスーパーで売られている。また、ブリカマに苗木販売園がある。
 - (2) 釣 り
海釣りは、港かデントンブリッジでできる。
- 10-9 娯楽、遊戯など
- (1) 娯楽、遊戯、ゲーム
カジノ、ディスコがある。
 - (2) 芸能興行
コーラの演奏会がたびたび催される。
- 10-10 スポーツ
- (1) ゴルフ
ファジャラゴルフクラブの入会金は400ダラシ、年間600ダラシである。ピジターも1ラウンド75ダラシでプレーできる。キャディーは18ホールで15～35ダラシである。また、用具は50ダラシで借りられる。ゴルフ用具の調達は可能であるが、中古品である。
プレー上の留意事項としては、コースは18ホールでサンドグリーン、ブッシュが多く、短パン使用は控えた方がよい。
 - (2) テニス
ファジャラクラブ、スタジアムクラブ、バンジュールクラブでできる。スタジアムクラブは年間80ダラシ、ファジャラクラブは年間100ダラシである。
 - (3) 水 泳
各ホテルにプールがあり、ほとんどが無料で使用できる。海水浴に適当なビーチも多数ある。すべて遠浅である。
 - (4) その他のスポーツ、用具、ウエア
バドミントン、卓球、スカッシュ、乗馬、ヨット、ウインドサーフィンなどができる。
 - (5) スポーツクラブなど
該当情報なし。

10-11 子供の遊び

日頃の遊びの種類は少ない。子供のためのクラブがあるほか、週末にプールやビーチに行って、家族と過ごすことが多い。

11. その他のサービス

11-1 金融機関

該当情報なし。

11-2 コンピュータ

該当情報なし。

11-3 美容院

外国人が利用する美容院は、バカウとケーブポイントにある。そのほか、ホテル内にもある。

料金は、以下のとおりである。

パーマ (カット+パーマ+セット)	350~400 ダラシ
カット (カット+セット)	200 ダラシ
セット	200 ダラシ

12. 観 光

12-1 地方旅行上の留意点

外国人の国内旅行に関する規制はない。地方の治安はよい。しかし、観光客用設備の整ったホテルはない。

12-2 主要観光地・保養地ガイド

バカウ、ファジャラの海岸に林立する観光客用ホテルは、毎年5万～6万人の北欧および北米からの観光客に利用されている。

12-3 旅 行

(1) 自動車

国を横断する道路がメインである。バンジュール～マンサコンコ間の道路の状態はよくないが、マンサコンコ～バセサントス間はよい。

ガソリンスタンドは多数あるが、バンジュールを離れるほど値段が高くなる。ガソリンは、1リットル8ダラシ（バンジュール、1994年12月現在）である。

地方ドライブの注意点としては、バンジュール～マンサコンコ間は道路に穴が多いので、スピードを出さないようにすること。マンサコンコからは道もよくなるが、ヤギ、牛、ロバなどに注意する必要がある。

(2) バス

国内長距離バスはバンジュール～バセサントス間（350キロメートル）を走っており、邦人の利用は可能である。片道、約5時間かかる。バンジュール～ダカール間は、片道約6時間である。

(3) 鉄 道

ない。

(4) 航空機

国内線はない。

12-4 旅行代理店

各ホテルが国内ツアーを企画している。

12-5 ホテルなど宿泊施設の手配

ジョージタウンおよびバセサントスに政府のレストハウスがあるが、設備はよくない。

13. 治安、緊急時の心得

13-1 暴動、クーデターなど

(1) 緊急時の連絡

電話、テレックスに頼るしかない。ただし、クーデターの場合は連絡が不可能となる。在セネガル日本大使館、JICAセネガル事務所、JICAパリ事務所またはJICA本部のいずれかへの連絡手段を日頃からよく調べておくことが望ましい。

13-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

治安状況はかなりよいが、観光客をねらうスリやひったくりがあるので、注意する必要がある。コソ泥が多いので、日頃から用心を怠らないこと。

(2) 防犯対策

ガードマンを雇い、窓に鉄格子をつけたり、犬を飼ったりしている。

(3) 被害時の心得

強盗に抵抗してナイフで刺された人がいるので、抵抗しないで金を渡すこと。連絡先は警察（電話：17）である。

13-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

これまで大きな火災が発生したという事実や、風水害、地震といった天災に見舞われたという記録はない。

(2) 防災対策

消火器などを設置しておくこと。

(3) 被災時の心得

警察（電話：17）または消防署（電話：18）へ連絡する。

14. 出入国手続および帰国手続

14-1 入国時

- (1) 空港施設概要
該当情報なし。
- (2) 入国手続書類
入国カードを記入する。イエローカードの提出を求められることは、まれである。
- (3) 入国審査
ビザチェック、入国目的、宿泊ホテル、滞在期間などを聞かれる。
- (4) 税関検査
荷物検査は形式的にするのみである。
- (5) 空港内での留意点
手荷物などの盗難があるので注意すること。
- (6) 空港からのトランスポート
タクシーのみで、市内まで120ダラシである。
- (7) その他の留意点
特になし。ポーターへの手荷物運搬代金は、1個10ダラシである。

14-2 出国時

- (1) 出国時の概要
該当情報なし。
- (2) 出国手続上の留意点
数次ビザあるいは滞在許可証があれば、再入国の時も問題ない。
空港使用税は、住民が50ダラシ、そのほかは20ドルまたは10ポンドである。

14-3 帰国手続

- (1) 帰国時に必要な事務手続
特になし。
- (2) 車の処分
車の買い手は早めに見つけておくことよい。名義変更などの形式はない。市販の適当な用紙に売買の事実を書き、サインしたうえ、証人2人のサインをもって手続をする。
- (3) 家財道具の処分
早めにスーパーなどの掲示板に書いておくことよい。また、日本への輸送はアナカンが安い。ユンダム空港のガンビア航空カーゴディビジョンで取り扱っている。
- (4) 住宅の明け渡し
家主への通知をし、電気代、水道代の支払いをすませること。
- (5) 外貨持出し規制
該当情報なし。

15. 私財の輸送、引き取り、購入

15-1 家財道具

(1) 輸送業者

空送の場合、ガンビア航空カーゴディビジョン（ユンダム空港内）がある。

(2) 輸入手続

B/L、免税措置の書類が必要である。空港敷地内の税関保税倉庫で開梱検査の後、自分で引き取る。

(3) 家財道具の購入

地元の家具屋に注文できる。すべて手作りである。料金はシングルタイプのベットが400～600ダラシである。

15-2 自動車

(1) 一般状況

トヨタ、ニッサン、三菱、マツダ、ルノー、プジョー、ラダ、ベンツのディーラーがあり、免税で買うと、それほど高くはない。

(2) 輸入手続

新車および中古車とも、必要書類は業者の送ってくれる証明書とB/Lでできる。

業者（海送の場合） Elder Dempster

車両輸入手続のフローチャートは、次のとおりである。

業者の送付書類→免税措置書類→B/L→税関→Elder Dempster→税関（陸揚げ代支払い）→引き取り→登録のため警察へ→保険加入→警察（登録ナンバー受取り）
平均手続所要期間は、2～3週間である。

(3) 任国での購入

購入する車種については、スペアパーツなどが入手容易な車種を選ぶべきである。技術協力専門家や大使館員から買う場合は問題ない。

また、新車購入も簡単であるが、免税措置書類が必要である。所要期間は1～2週間である。

(4) 自動車登録

ディーラーに頼めばすべてやってくれる。

ナンバープレートの種類は、次のとおりである。

黒地に白字—政府の車（GG）、農業省の車（MA）、一般の車（GO,GIA）

緑地に白字—外交官の車（UN）

黄地に黒字—営業者の車（タクシー、乗り合いバスなど、GIA）

赤地に白字—技術協力者の車（事業名〇〇TA）

青地に白字—NGOの車

車検などはない。

(5) 免許証取得

国際免許証からの切り替えを行なう。日本の免許証も持参した方がよい。

(6) 保険、税金

保険会社には、セネガンビアインシュランス（SIC）、ガンビアナショナルインシュランス（GNIC）、キャピタルインシュランス（CIC）がある。

道路税があるが、JICA 専門家は免税となる。

ニッサンピックアップトラック 4WD で、年間 4,000～6,000 ダラシ。2 年目以降は、割引がある。

16. 社 交

16-1 風俗習慣

国民の85%がイスラム教徒である。また昔ながらのアニミズムがあり、国民のほとんどが、サフォーというお守りを身につけている。

アルコール類、豚肉はとらない習慣がある。

また、家族、親戚が多く、コンバウンド（長屋）で集団生活を営んでいる。子供が生まれて1週間後に命名式（バッテン）が催される。この時祝儀を渡す習慣がある。

16-2 パーティでの留意点

当地のパーティには、祝儀を持って行く方がよい。

16-3 来客時の留意点

当国人の訪問には余裕を持って接した方がよい。

16-4 訪問時の留意点

ものの受渡しは、右手で行なうように気をつけること。ガンビア人は、見知らぬ訪問者に対しても、とても親切である。

16-5 禁止されている言動

同国民に対しては厳しい規律があるが、外国人に対しては寛容である。しかしながら、お祈りをしている前を横切るようなことはすべきでない。

18. 在外日本関係機関など

ない。在セネガル日本大使館が兼轄している。

19. 地方都市

該当情報なし。

任国情報コメント用紙

本書をより使い易いものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、脱字、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、任国情報に関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

[送付先] 〒162 東京都新宿区市谷本村町10-5
 国際協力事業団国際協力総合研修所
 技術情報課 任国情報係

国名				年度	年版		
氏名				年齢	歳	性別	男・女
利用区分	所属(担当)部課名	指導科目	派遣期間				
JICA役職員							
JICA専門家等							
その他				(所属先)	(当該国での滞在期間)		
住所							
電話番号				日付	年	月	日
ページ	行	内		容			
国 総 研 記 入 欄							
記事	技術情報課確認印						
	データベース修正処理			課長	代理	担当	
	月日		月日	月日	月日		月日

任国情報をご利用の皆様へ

この任国情報は、国際協力のために赴任される J I C A 長期派遣専門家、J I C A 職員等の方々に、任国での生活上必要な最新の情報を提供する目的で作成されました。

本書の原データは国際協力総合研修所内のデータベースに蓄積されており、新しいデータが入手され次第、逐次更新できるシステムにしております。

現在までに、下記の国々について任国情報が整備されております。なお、政府技術協力のために赴任する J I C A 役職員および派遣専門家は、技術協力協定や要請文書などの外交関係により、任国への入国および滞在にあたって特別の条件が付され、一定の義務が免除されるなどの特権が付与されています。本情報はこれらの条件に基づいた赴任マニュアルです。したがってご利用は J I C A の用務による業務渡航者に限らせていただいております。

また、本情報は外国人専門家という特殊なステータスによる生活ガイドであって、それぞれの国の人々の一般的な暮らしぶりを紹介するものではありません。各国の一般的な各種事情については、J I C A 図書館に多数資料をそろえておりますので合わせてご利用ください。

-----アジア地域-----

1. バングラデシュ
2. ブータン
3. ブルネイ
4. カンボディア
5. 中華人民共和国
6. インド
7. インドネシア
(ジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタ、メダン)
8. 大韓民国
9. ラオス
10. マレーシア
11. ミャンマー
12. ネパール
13. パキスタン
14. フィリピン
15. シンガポール
16. スリ・ランカ
17. タイ (バンコク、チェンマイ、コンケン)
18. ヴィエトナム

-----中近東地域-----

1. アルジェリア
2. バハレーン
3. エジプト
4. イラン
5. ジョルダン
6. クウェイト
7. モロッコ
8. オマーン
9. カタル
10. サウディ・アラビア
11. スーダン
12. シリア
13. テュニジア
14. トルコ (アンカラ、イスタンブール)
15. アラブ首長国連邦 (ドバイ、アブダビ、ドバイ)
16. イエメン (サナ)

-----太平洋地域-----

1. フィジー
2. キリバス
3. ミクロネシア
4. パラオ
5. パプア・ニューギニア
6. ソロモン諸島
7. ヴァヌアツ
8. 西サモア

-----欧州地域-----

1. カザフスタン
2. キルギスタン
3. ポーランド
4. タジキスタン
5. トルクメニスタン
6. ウズベキスタン
7. ハンガリー

-----アフリカ地域-----

1. ベナン
2. ブルンディ
3. カメルーン
4. カーボ・ヴェルデ
5. コモロ
6. エチオピア
7. ガンビア
8. ガーナ
9. ギニア
10. コートジボアール
11. ケニア
12. リベリア
13. マダガスカル (アンタナナリボ、ディエゴ・スアレ)
14. マラウイ
15. モーリシアス
16. モザンビーク
17. ニジェール
18. ナイジェリア
19. ルワンダ
20. サントメ・プリンシペ
21. セネガル
22. セイシェル
23. ソマリア
24. タンザニア (ダルエスサラーム、ザンジバル)
25. トーゴ
26. ザイール
27. ザンビア
28. ジンバブエ
29. スワジランド
30. ボツワナ

-----中南米地域-----

1. アルゼンティン
2. ボリヴィア (ラ・パス、サンタクルス)
3. ブラジル (ブラジリア、サンパウロ、リオデジャネイロ、ボルトアレグレ、ベレーン)
4. チリ
5. コロンビア
6. コスタ・リカ
7. ドミニカ共和国
8. エクアドル
9. グレナダ
10. グアテマラ
11. ホンデュラス
12. メキシコ
13. パナマ
14. パラグアイ (アスンシオン、エンカフシオン)
15. ペルー
16. セント・ルシア
17. トリニダード・トバゴ
18. ウルグアイ
19. ヴェネズエラ
20. ニカラグア

「任国情報（ガンビア）1995年版」

平成7年3月20日発行

編集・発行所 国際協力事業団 国際協力総合研修所

〒162 東京都新宿区市谷本村町10番5号

電話 (03) 3269-2357

編集協力 財団法人 日本国際協力センター



Handwritten text along the right margin, including a date and a signature.

